

3. 平成25年度活動実績

(1) リクルート等の実績

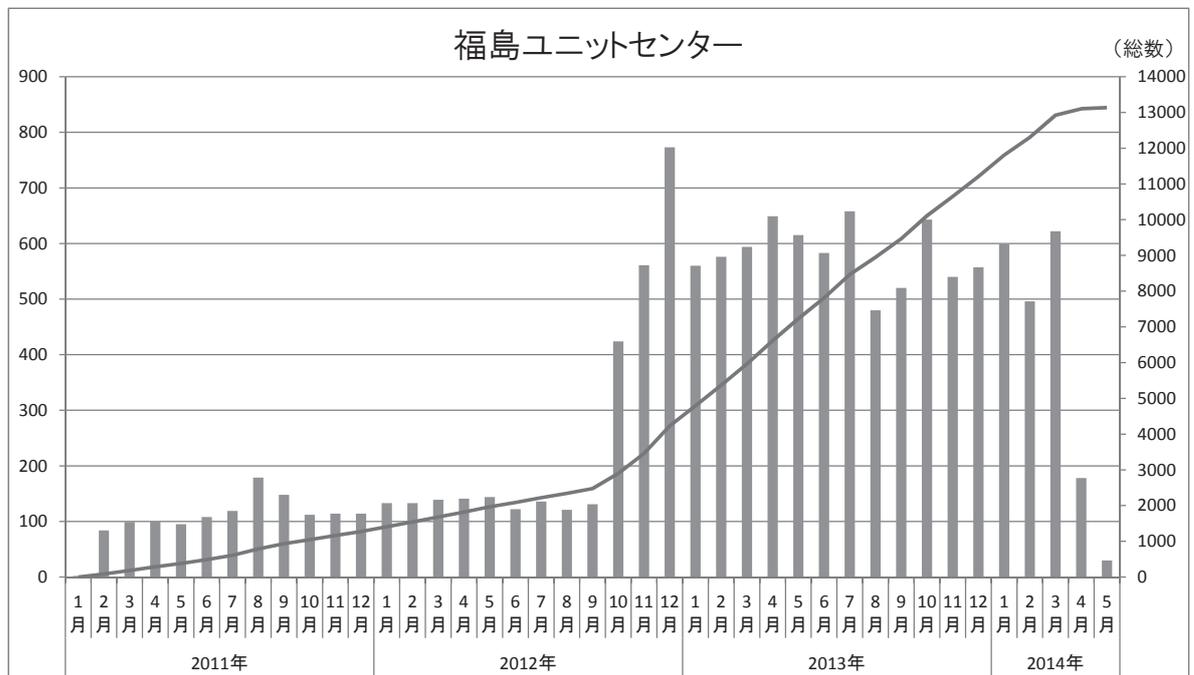
1) 母親参加者数は、13,132人

平成23年1月に、福島市及び相双地域9市町村でリクルートを開始し、その後県北地域の4市町を加え、さらに24年10月からは県内59市町村を対象に参加者募集を行なった。そして平成26年3月31日をもってリクルートは終了した。

約3年2ヵ月にわたるリクルートの実績は、母親が13,132人、また平成26年6月23日現在父親が8,180人、この間誕生した子どもさんは9,922人に達し、合計約3万1千人、本県人口194万人の約1.6%の県民がエコチル調査に直接関わっているという状況となった。母親は、妊婦さんの「2人に1人が参加した」という、これまでに例のない大規模な調査となっている。

なお、計画上の目標は母親の参加者が15,900名であったので、達成率は82.6%となった。また、声をかけ、参加に同意した妊婦さんの割合は、79.6%であった。

月別母親参加者数の推移(平成23年1月～26年5月)



保健所管轄別参加者数(平成26年6月23日現在)

保健所管内別	お母さん	お父さん
福島県 県北	5,711	4,373
〃 県中	1,243	594
〃 県南	843	578
〃 会津	1,279	411
〃 南会津	128	60
〃 相双	390	291
郡山市	1,743	1,028
いわき市	1,789	830
その他(※)	6	15
計	13,132	8,180

※「その他」：他ユニットセンター調査対象地域在住者で、本県協力医療機関で出産しリクルートした者

年度別リクルート数及び同意率

年度	声かけ(人)	リクルート(人)	不同意(人)	同意率(%)
22	233	192	41	82.4
23	2,034	1,530	504	75.2
24	5,277	4,227	1,050	80.1
25	8,953	7,183	1,770	80.2
計	16,497	13,132	3,365	79.6

*「声かけ(人)」：声をかけ、エコチル調査について説明をした人数

平成26年4月2日 福島民報新聞

福 島 民 報	
<p>平成二十三年一月から始まった「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」の参加募集が三月三十一日で締め切られ、同日現在で本県から一万二千七百二十九人の母親が登録した。一日、福島医大エコチル調査福島ユニットセンターへの取材で分かった。本県の妊婦の二人に一人が登録したと</p>	<p>本県地域は登録目標の一万五千九百人には届かなかったものの、対象となる全国十五地域のうち、最多登録数となり、全体の12・6％を占めた。次いで宮城県地域の九千人台、北海道地域の七千人台などが続いた。全国では三十一日現在で十七万一千百六人が登録し、目標の十万人を達成した。</p>
<p>エコチル調査は子どもが十三歳になるまで、化学物質や放射線による放射性物質などによる放射線物質などの環境要因が成長・発達にどう影響するかを追跡する大規模な疫学調査。同センターは、本県の高い登録者数は放射線による健康不安や環境意識の高まりなどが要因とみている。</p>	<p>エコチル調査は子どもが十三歳になるまで、化学物質や放射線による放射性物質などによる放射線物質などの環境要因が成長・発達にどう影響するかを追跡する大規模な疫学調査。同センターは、本県の高い登録者数は放射線による健康不安や環境意識の高まりなどが要因とみている。</p>

2)参加者増加のための活動

後述するように(13ページ～)様々な媒体を活用して、広報活動を実施したが、特に妊婦さんと直接接する機会のある医療機関及び市町村に対し、格別の協力をお願いした。

① 医療機関及び市町村に

- ・毎月、参加者数の推移や全国のエコチル調査の動向、当センターの活動状況等をお知らせするために、活動報告書を送付した。
- ・エコチル調査にかかるポスター等の掲示や配布をお願いした。

② 医療機関に

- ・医師やスタッフからの妊婦さんへの全員声かけをお願いした。
- ・医療機関のスタッフや当センターの常駐RCスタッフによるリクルート状況等についての情報交換会を開催した。
- ・同意率の低い医療機関に、リクルート方法等について説明した。

③ 市町村に

- ・医療機関が行なうリクルートに同意していただきやすくなるよう、母子健康手帳を交付する際に積極的に声かけを行なうようお願いした。
- ・エコチル調査やキャラクターネーミングについて、広報誌への掲載を依頼した。

なお、調査対象が全県に拡大した平成24年10月から26年3月までの1年6ヵ月間の出生数に対するカバー率は全県で49.4%となっており、県内で出産された「妊婦さんのほぼ2人に1人」が、この調査に参加しているという高い関心と期待が表れている。

カバー率(平成24年10月～26年3月)

保健所管内別	出生数(人)	リクルート数(人)	カバー率(%)
福島県県北	5,078	3,260	64.2
〃 県中	2,177	1,224	56.2
〃 県南	1,767	836	47.3
〃 会津	2,665	1,268	45.6
〃 南会津	230	127	55.2
〃 相双	1,938	363	18.7
郡山市	3,923	1,742	44.4
いわき市	3,699	1,786	48.3
計	21,477	10,612	49.4

* 「出生数(人)」: 福島県人口統計による

- * 平成23年3月の東京電力福島第一原子力発電所事故後、南相馬市及び双葉郡の医療機関ではリクルートが中断しており、この地域を除いた県全体のカバー率は49.8%となる。

(2)フォローアップ活動

1)質問票等の回収状況

妊娠初期から中期、出産、生後1ヵ月、6ヵ月、1歳、1.5歳、2歳、2.5歳までの9種類の調査を実施した。

このうち、医療機関で受診している「生後1ヵ月」までの質問票等の回収は、医療機関が積極的に対応していただいている。

その後については、郵送による回収となるが、年齢経過とともに回収率が少しずつ低下する傾向となっているものの、なお9割近い回収率を維持している。

2)回収率向上のための対応

本調査に参加し続けていただくために、ていねいな対応に心がけ、回収率の向上に努めた。

- ① 妊娠初期～生後1ヵ月
 - ・医療機関や当センターにおいて、回収状況などの進捗管理を実施した。
- ② 生後6ヵ月～2.5歳
 - ・当センターにおいて、回収状況の確認、質問票への記入漏れをチェックした。
 - ・未回収者に対し、質問票発送から1ヵ月経過後メールにて督促した。
 - ・なお回収できない場合は、発送から2ヵ月後に2回目の督促としてハガキを送付。その際、はがきの余白に体調を気遣う一文を入れた。
 - ・これらの過程のなかで、相談事等があった場合は電話やメールでていねいに対応した。
- ③ 参加者への直接PR
 - 参加者向けのふれあい会やコンサートを開催するとともに、エコチル新聞を発行した。

質問票の回収状況(平成26年3月31日現在)

NO	質問票	発送数(人)	回収数(人)	回収率(%)
1	6ヵ月児	6,385	5,822	91.2
2	1歳児	3,160	2,687	85.0
3	1.5歳児	1,713	1,522	88.8
4	2歳児	959	843	87.9

(3)地域運営協議会開催

1)開催目的

エコチル調査の円滑な遂行を図るために、行政・医療機関等の委員184人に対し調査実績や今後の調査に関する情報発信、普及啓発を行なうとともに、情報交流の推進を図った。

2)開催状況

平成25年度は、県及び地域の運営協議会を計5回開催した。

NO	協議会名称	開催日	開催地	出席者数(人)
1	福島県地域運営協議会	7月10日(水)	福島市	35
2	県北・相双地域運営協議会	11月27日(木)	福島市	42
3	県中・県南地域運営協議会	10月28日(月)	郡山市	48
4	会津地域運営協議会	11月6日(水)	会津若松市	39
5	いわき地域運営協議会	11月29日(金)	いわき市	25

3)内容

- ・各協議会において、環境省・コアセンター・メディカルサポートセンターの責任者から調査にかかる情報や意見をいただいた。
- ・各地域運営協議会において、他のユニットセンターの方々から活動状況の紹介とともに、調査推進のための貴重なご意見を紹介していただいた。(北海道UC、富山UC、高知UC、福岡UC、南九州・沖縄UC)
- ・本県のリクルート実績等の活動状況を報告した。
- ・4つの各地域運営協議会においては、26年度から始まる詳細調査について、メディカルサポートセンターからその意義やパイロット事業について説明があり、これに対し委員の皆さんから様々な意見・要望が出された。

福島県地域運営協議会(7月10日)



(4)市町村訪問

・平成25年7～8月

調査開始時に対象地域であったものの、23年3月の原発事故により避難した南相馬市及び双葉郡の8町村を、県内各地にある仮役場などに訪問し、子どもの生活環境などを聴取するとともに、調査の推進等を依頼した。

原発事故後に双方とも情報交換する機会がほとんどなかったことから、避難した先の医療機関で出産した妊婦さんが何人も調査に参加している実態をお知らせし、また母子健康手帳交付窓口での妊婦さんへの声かけを要請した。

(5)医療機関訪問

1)平成25年12月

リクルート期限が26年3月末に迫ってきたことから、改めてカバー率向上及びリクルート数増加の協力依頼をするため、県内42の協力医療機関を直接訪問した。リクルート数は、最終的には目標の15,900人には達しなかったものの、各協力医療機関においては最後の数ヶ月間さらなるリクルートに尽力していただいた。

2)平成26年3月

リクルート終了の周知及び最後の参加者への声かけを要請するため、拡大地域を中心に協力医療機関を直接訪問した。

3)平成26年2～3月

平成27年度から始まる詳細調査(医学的検査、精神神経発達検査)の準備のため、県内各地域の小児科のある基幹医療機関7病院を訪問し、詳細調査の概要を説明するとともに、実施の可能性の有無や実施に際しての課題等を聴取した。

(6)広報活動

1)イベント開催

県民の皆さんを対象に県内各地で「エコチルコンサート」を開催し、エコチル調査への理解を求めるとともに、妊婦さんの調査への参加を訴えた。

NO	開催日	開催地	参加者数(人)
1	6月15日(土)	会津若松市	約200
2	7月13日(土)	いわき市	約400
3	11月10日(日)	郡山市	約300
4	11月16日(土)	福島市	約350

エコチルコンサート(7月13日 いわき市)



2)ふれあい会開催

県北地域において、子どもの各年齢に合わせた母子のふれあい会や育児相談会を行なった。

- ① 6カ月児対象 ベビーマッサージや育児の話などについて、3回実施(4月17日、8月28日、12月18日)し、合計168組の親子が参加した。
- ② 1.5歳児対象 ふれあい遊びや食育の話などについて、2回実施(6月12日、9月25日)し、合計37組の親子が参加した。

1.5歳児対象のふれあい会(9月25日 福島市)



3)キャラクターネーミング：『こぼちる』ちゃん誕生

調査の開始に合わせ、福島ユニットセンターのキャラクターが子孫繁栄・子どもが健康に育つようにとの願いをこめて、会津地方に古くから伝わる縁起物の起き上がり小法師をモチーフに作られた。しかし、名前が付けられてなかったため、皆さんに親近感をもってもらえるよう本年度ネーミングコンテストを実施し、『こぼちる』ちゃんとそのママ・パパが誕生した。

11月10日に郡山市で開催したエコチルコンサートの会場で、『こぼちる』誕生の発表と命名者への表彰式を行なった。

- ① 公募期間 8月20日～10月11日
- ② 応募総数 県内外から1,095作品
- ③ 選考 関係機関のアンケートなど三次の選考会を経て決定
- ④ 命名者 会津美里町の前田友美さん(1児の母、エコチル調査参加者)
他に、優秀賞として2名を選考

愛称は「こぼちる」

「エコチルふくしま」イメキャラ

名付け親・原田さん(美里)表彰

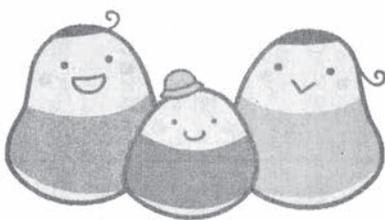
本県の子どもたちの成長と環境を見守るプロジェクト「エコチルふくしま」イメージキャラクターターの子ど



表彰状を贈られる原田さん(美里)

もの愛称が「こぼちる」に決まった。10日、郡山市で開かれた「エコチルコンサートinこおりやま」で発表された。ネーミングコンテストで会津美里町の原田友美さんが最優秀賞に選ばれた。

コンテストには、全国か



愛称が決まった「こぼちる」(中央)と「こぼちるパパ」(左)、「こぼちるママ」(右)

ら1095点の応募があった。原田さんは、キャラクターの「起き上がり小法師」と、事業名の「エコチル」を組み合わせて愛称を名付けた。

表彰式は同コンサートの席上行われ、橋本浩一エコチル調査福島ユニットセンター長が原田さんに表彰状を手渡した。

優秀賞は会津若松市の結城千春さん、木村陽子さんが受賞した。

コンサート 親子魅了

「エコチルコンサートinこおりやま」は10日、郡山市民文化センターで開かれ、親子らが歌やロープパフォーマンスを楽しんだ。約400人が来場。橋本浩一エコチル調査福島ユニットセンター長がエコチル調査の概要や体制などを説明し、「一人で悩まず、周囲を巻き込んで子育てを楽しみましょう」と話した。

4) マスコミ等による広報

エコチル調査活動等を新聞等で紹介される機会を作ったほか、ラジオ・新聞等で下記のCMを提供するなど、積極的な広報を実施した。

- ① エフエム福島で、子供向け番組「よ・み・き・か・せ」放送(毎週月～木曜日)
- ② ラジオ福島で、各月計10回、スポットCM放送
- ③ 福島民報新聞及び福島民友新聞で、毎月1回CM記事掲載

福島民友新聞 週間テレビプログラム「Touch」掲載



- ④ ・地域情報誌等でリビング福島及びリビング郡山に隔月1回CM記事を計12回、またハートこおりやま版及びハートいわき版で計10回CM記事を掲載した。
- ・またリビング誌の「エコチル通信」コーナーに、子育て等に関する橋本センター長(小児科医)や当センターの産婦人科医師・助産婦等の寄稿を計6回掲載(別添「資料2」参照)

- ⑤ 地域情報誌「Winwin」に計7回、広告を掲載
- ⑥ エフエム福島で、「親子で楽しむ、よ・み・き・か・せ」8月31日放送
(8月18日、白河で絵本のよみきかせ公開録音とイベントを実施)
- ⑦ ラジオ福島で、子育て特別番組「尾木ママと子育てについて考えよう」11月23日放送
(教育評論家・尾木直樹氏と小児科医・橋本ユニットセンター長の対談)

- ⑧ ラジオ福島で、3つの番組の中で「エコチル調査について」放送
(平成26年2月計6回、橋本センター長及びRC 2人出演)

5) ニュースレターの発行

10月に参加者約9,500人に対し「ふくしまエコチル新聞」を発行。開設して1年経過した郡山事務所の活動状況やエコチルコンサートなどのイベント情報等を報告した。
(別添「資料3」参照)

6) 協力医療機関及び市町村へ活動報告

毎月、約50の協力医療機関に対し「エコチル★だより」を発行し、医院ごとのリクルート実績やインシデント発生状況等を報告した。またイベント等の情報や今後の予定等について周知を図った。

協力医療機関向け活動報告(エコチル★だより)



エコチル★だより 第6号

トピック
母親同意数がまもなく8000人になります

リクルート進捗状況

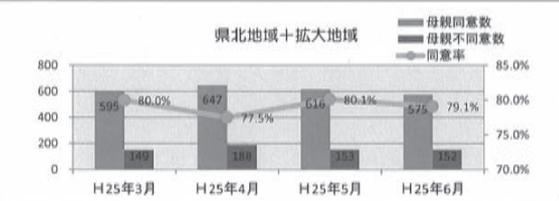
	母親同意数(同意率%)	父親同意数(同意率%)	子ども登録数
6月	418 (78.7)	222 (97.8)	
拡大地域	157 (80.1)	115 (98.3)	
うち貴院			
貴院累計(リクルート開始より)	1,157 (80.9)	948 (96.9)	
福島県累計	7,800 (78.9)	4,282 (97.3)	3,327
全国15ユニット累計	74,139 (78.5)	34,484 (94.2)	49,335

※6月30日までの入力完了済み数値を表示しています。

＜母親リクルート月別推移＞ (平成25年3月～平成26年6月)

	3月			4月			5月			6月		
	同意	不同意	同意率									
拡大地域	425	113	79.0%	500	140	78.1%	451	107	80.8%	418	113	78.7%
県北地域	170	38	82.5%	147	48	75.4%	165	46	78.2%	157	39	80.1%
計	595	149	80.0%	647	188	77.5%	616	153	80.1%	575	152	79.1%

県北地域+拡大地域



フォローアップ状況 (平成25年7月1日現在)

調査時期	発送数	回収数	回収率
6ヶ月質問票	2,242	2,034	90.7%
1歳児質問票	1,326	1,200	90.5%
1.5歳児質問票	631	544	86.2%

6月のインシデント報告事例 (9件・福島地区0件・拡大地域9件)

- 生体試料関連
 - 試験管を間違えて使用した T2⇒T1 を使用
 - T1 の採血を2回実施してしまった
- 同意書関連
 - 対象地域外の方をリクルートしてしまった
 - 対象地域外の方をリクルートしてしまい、臍帯血を採取してしまった
 - 生体試料採取の実施日を、同意日の前日にしてしまった
- ID ラベル関連
 - 間違った ID ラベルを生体試料依頼書に貼り提出してしまった (2件)
- その他
 - 生体試料依頼書のユニットセンター用を紛失した
 - 参加者個人フォルダーを紛失した

イベント・会議

★6月12日 県北地区でエコチルふれあい会が開催されました★

1歳半から約2歳の親子3組にお集まりいただき、読み聞かせやふれあい遊びを楽しみました。

★各地区でRC情報交換会が開催されました★
医療機関RCと各地区のユニットセンタースタッフが参加して、約1時間のグループワークを行いました。

6/13 南町
6/16 いわき
6/19 飯山
6/26 兜座

★7月10日(水) 福島県地域運営協議会が開催されました★
(各地域ごとの地域運営協議会は、秋頃に開催する予定です)

お知らせ 8月28日(水) 県北地区でエコチルふれあい会が開催される予定です。

ご意見・ご要望などございましたら巡回時等の際にお聞かせください

【編集・発行】 福島県立医科大学 エコチル調査福島ユニットセンター
(大学本部事務所) 〒960-1295 福島市光が丘1
TEL 024-547-1449 FAX 024-547-1448
(郡山事務所) 〒963-8024 郡山市朝日3丁目6番4号
レジデンス朝日第2ビル2階
TEL 024-983-4780 FAX 024-983-4751
<http://www.ecochil-fukushima.jp/>

また、7月から毎月県内全ての市町村に対し「エコチル★活動報告」の発行を始め、県内の保健所管内ごとのリクルートの実績やエコチル調査を取り巻く最新の情報などを報告した。また、母子健康手帳交付窓口での「声かけ」についてお願いをした。

市町村向け活動報告(エコチル★ふくしま)

平成26年2月
Vol.8

最新のリクルート状況をお届けします

エコチル★ふくしま活動報告

ごぼちる

平素は、エコチル調査にご協力賜り、厚く御礼申し上げます。
平成26年1月、県内のお母さんの参加者数が「11,800人」、お父さんの参加は「6,700人」、誕生したお子さんも「8,100人」となりました！

リクルート進捗状況

＜エコチル★ふくしま 参加者数(お母さん)の推移＞

＜居住地別参加状況＞ (H26.1.31現在)

	お母さん	お父さん
福島県全体	11,797	6,750
東北保健所	5,275	3,881
関東保健所	1,076	442
東海保健所	746	440
会津保健所	1,142	335
南会津保健所	118	48
相双保健所	342	238
郡山市保健所	1,532	765
いわき市保健所	1,566	601

※平成23年1月末日より東北保健福祉事務所管内の福島市、相双保健福祉事務所管内の南相馬市、双葉郡で調査開始。平成23年6月1日より東北保健事務所管内の伊達市、伊達郡で開始。その後、平成24年10月より福島県内全59市町村で調査開始。但し、南相馬市、双葉郡は東日本大震災以後中断。
※東北保健福祉事務所管内の参加者数が突出しているのは、以上に示したように調査期間が長いため。
※「お父さん」の人数は、全県で8,165人です。(H26.1.31現在)

全国では・・・

	お母さん	お父さん	お子さん
	95,076	44,825	70,257

エコチル調査3周年シンポジウムが開催されました

エコチル調査は、全国で平成23年1月31日に始まり、今年の同日、環境省主催による「3周年記念式典」が東京都内で開催されました。シンポジウムでは、1歳6か月のお子様のお母さん福島市在住・石川優様が参加者を代表して、妊娠中の生活習慣と子どもの発育などについて話をされました。(写真中央)

エコチル調査・その過程で「明らかになったこと」が公表されました

これまで3年間の参加者様からいただいた貴重なデータの集計結果が、環境省より公表されました。妊婦さんの喫煙や飲酒など生活習慣、育児環境やパートナーの育児協力、授乳や離乳食など子どもの食事について、全国の約9万5千人の母親、約4万5千人の父親からのデータが報告されました。

【出産後6ヶ月】パートナーは育児休業を取得したか

【出産後1年】産後時点での離乳食の状況

これほど大規模な調査はこれまで例がありませんので、詳しい内容を、環境省のホームページでは是非ご覧いただきたいと思っております。
【エコチル★ふくしまホームページ】
→ [環境省] → [エコチル調査] → [新着情報 26.1.31 及び25.11.15]

福島の子どものための健やかな成長のため、
これからも、エコチル調査をよろしくお願い申し上げます。

【編集・発行】福島県立医科大学 エコチル調査福島ユニットセンター
(福島本部事務所) 〒960-1295 福島市光が丘1
TEL 024-547-1449 FAX 024-547-1448
(郡山事務所) 〒963-8024 郡山市朝日3丁目6番4号
レジデンス朝日第2ビル2階
TEL 024-983-4780 FAX 024-983-4751
(ホームページ) エコチルふくしま

7)市町村広報誌に掲載

エコチル調査の内容や参加者募集に関する情報を13市町村の広報誌に、またキャラクターネーミング募集に関する紹介記事を8市町村で掲載していただいた。

8)市町村及び各種団体主催のイベントに参加

福島市主催の健康フェスタなどにエコチルコーナーを設け、来場者にエコチル調査の周知と妊婦さんの参加を呼びかけた。

- ① 4月 ラジオ福島主催の「さくらまつり」(福島市)
- ② 9月 福島市主催の「健康フェスタ」(福島市)
- ③ 9月 福島県産婦人科医会及び福島県産科婦人科学会主催の「福島のママ・パパを応援する集い」(いわき市、郡山市)
- ④ 11～12月 日本赤十字社福島県支部主催の「赤十字すまいるぱーく」(郡山市、いわき市)

(7)謝礼支払いに、電子マネー導入

調査参加者への謝礼として当初より金券を送付していたが、平成26年3月から母親への謝礼を電子マネーによる支払いに切り替えた。

1)目的

母親参加者約13,000人に今後13年間にわたって年2回、質問票への謝礼として金券での謝礼支払いを行なうことは、人的にも時間的にも大変な労力を要するとともに、簡易書留による郵送は膨大な経費を伴うこととなるので、これらの労力及び経費を削減するとともに、金券の紛失等の人的ミスを解消するため、謝礼の支払いを電子マネーに切り替えることとした。

2)適用範囲

母親参加者を対象とし、謝礼支払いの機会が1回のみのお父様及び銀行振込で支払っている医療機関は、対象外とした。

3)導入時期及び対象者

平成26年3月から実施。前月に同意書や質問票を回収した母親について、1,518人に電子マネーカードを送付し、謝礼をポイントとして付与した。

なお、26年度中には、母親参加者全員にカードの送付を終了する。

電子マネーカード



(8)その他研修等

1)RC代行研修

医療機関、市町村、ユニットセンターの職員に対し、計36回実施し、これまでに認定されたRCは合計590人となった。

2)RC情報交換会

医療機関や市町村スタッフのRC情報交換会を、25年6月に拡大地域4ヵ所で、26年2月に県北・相双地域1ヵ所、合わせて県内5ヵ所で開催した。参加者は、約120人に及び、エコチル調査の動向に関する情報の提供やユニットセンターと医療機関等のRCがそれぞれに抱える課題について意見交換するなど、事業を積極的に推進するうえで、貴重な機会となった。

26年2月に県北・相双地域で行なわれた情報交換会では、リクルートの期限が間もなく終了する時期であったこともあってか、病院スタッフRCから「達成感」という言葉が聞かれ、各医療機関において熱心なリクルート活動が展開されていたことを物語っている。

いわき地域RC情報交換会(6月6日 いわき市)



3)他ユニットセンターとの情報交換会

他ユニットセンターが地域運営協議会にご出席いただいた際、別途時間を設けて当センターのRCを中心に調査の進め方や課題、来年度から始まる詳細調査等について、5ユニットセンターと5回情報交換会を行なった。

また、参加者への謝礼支払いを電子マネーにいち早く切り替えた南九州・沖縄ユニットセンターから貴重な意見をいただいた。

NO	開催日	場所	参加ユニットセンター	主な内容
1	7月10日(水)	福島市内	北海道、福岡	同意率向上方策、フォローアップ活動
2	10月28日(月)	郡山事務所	南九州・沖縄	調査の進捗状況、詳細調査
3	11月6日(水)	郡山事務所	富山	調査の進捗状況、広報活動
4	11月27日(水)	福島市内	南九州・沖縄	詳細調査、電子マネー導入
5	11月29日(金)	郡山事務所	高知	フォローアップ活動、電子マネー導入

高知ユニットセンターとの情報交換会(11月29日 郡山事務所)



4) 職員研修

県内各地で業務を推進しているRC及び事務職全職員を対象に、隔月で計4回の研修会を行なった。4回とも日曜日に実施したが、参加職員は毎回8割を超えた。

研修会では、外部講師による接客ビジネスマナーやコミュニケーションの大切さについて講演と実践があり、また職員同士で業務推進上の課題等についてグループワークを行なった。

NO	開催日	研修テーマ	講師等
1	5月12日(日)	仕事の要！コミュニケーション	PHP研究所 旗持 玲子氏
		追加調査について	福島県立医科大学 経塚 標氏
2	7月21日(日)	ここがポイント！ビジネスマナー	PHP研究所 旗持 玲子氏
3	9月1日(日)	今こそ、チーム力アップ	PHP研究所 旗持 玲子氏
4	12月8日(日)	放射能影響を伝えることの難しさ	放射線医学総合研究所 島田 義也氏

5) 詳細調査・医学的検査のパイロット調査視察

詳細調査の医学的検査が平成27年度から実施される予定である。このため平成26年1月にセンター長やRC・事務職など4人が、医学的検査のパイロット調査を実施している自治医大において、その実施状況を視察した。調査の方法などについて具体的にイメージすることができた。